

東日本大震災被災地の復興を支援するために

# 災害廃棄物の試験焼却を実施しました

**■試験焼却の実施**  
 敦賀市は10月26日、市清掃センタ―で、災害廃棄物の試験焼却を実施しました。受け入れた廃棄物は、岩手県大槌町の木材チップ（柱材や角材などをこまかく破砕したもの）約3トンで、市の通常可燃ごみと混合（混合率約6%）して焼却しました。この試験焼却で排ガスや焼却灰中の放射性セシウム濃度や周辺の放射線量を測定し、安全を確認しました。

**■試験焼却の結果**

木材チップと市の通常可燃ごみを混ぜた焼却灰等の1キログラム当たりの放射性セシウム濃度は、セメント固化灰（飛灰をセメントで固めた物）で5ベクレル、燃えがらでは不検出でした。災害廃棄物受け入れ前の通常可燃ごみを焼却したセメント固化灰は3ベクレルであり、岩手県大槌町の木材チップを混ぜて焼却しても、通常焼却時と変わらないものと考えられ、赤崎最終処分場にて適正に埋立処理しました。

**■広域処理ってどんなこと？**

被災地の災害廃棄物を迅速に処理するために、全国の廃棄物処理施設で処理することです。

被災地の一日も早い復興に向け、災害廃棄物の早急な処理が必要とされています。

**■飛灰って何？**

清掃センターでは、ダイオキシン対策等のため、排ガス処理装置（バグフィルター）で、排ガス中の微粒子の灰を吸着、除去しています。除去した微粒子を飛灰といい、放射性セシウムはこの飛灰に移行するので、バグフィルターでほぼ100%除去でき、大気中への放出を防ぎます。市では、この飛灰をセメントで固めた後に埋立処分しています。

**■健康に対する影響は？**

国の定める広域処理の対象は、可燃物の場合、放射性セシウムの濃度が1キログラム当たり240〜480ベクレル以下としています。市では、この基準よりも低い1キログラム当たり100ベクレル以下の可燃物（木材チップ）を受け入れる基準としています。

可燃物を焼却すると、焼却灰に放射性セシウムが濃縮されます。最も厳しい条件で評価しても、埋立処分した後の処分場周辺への影響は年間0.01ミリシーベルト以下となります。これは、一般公衆の年間線量限度である1ミリシーベルトを下回ります。

**市の受け入れ基準  
放射性セシウム濃度100ベクレル/kgとは？**

食品中の放射性セシウムの新基準値	
食品群	基準値 (ベクレル/kg)
飲料水	10
乳児用食品	50
牛乳	50
一般食品	100

国は、さらなる安全と安心のために、平成24年4月から、これまでより厳しい基準値を設定しました。

**■今後の予定は？**

岩手県等関係機関と調整し、定期的な受け入れ体制が整いましたら、平成26年3月末までに900トン（日量約4トン、混合率約4%、週5日焼却）の災害廃棄物の本格処理を実施致します。

被災地の復興を支援するため、市民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

観光名所のひとつ「蓬莱島」(震災後)

大槌町からメッセージ

この度は、当町で発生した災害廃棄物の試験焼却にご協力いただきまして、心より深く感謝申し上げます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって、強い地震に襲われた当町では、地震が引き起こした大津波と火災により、死者・行方不明者は1,300人を超え、壊滅的な被害を受けました。

また、震災により当町で発生したおよそ48万トンの災害廃棄物は、県内の焼却施設等で処理を行っておりますが、県内での処理だけでは、完了までに長い時間が必要となることから、他自治体の皆様のご理解とご協力の下、広域処理にご協力していただいております。

そのような中で、福井県敦賀市の皆様には、災害廃棄物受け入れの検討、試験焼却の実施に取り組みんでいただいていることに改めて感謝申し上げます。

ご協力していただいている敦賀市の皆様には、復興後の新たな当町へぜひ一度お越しいただければと思います。

大槌町長

碓氷

放射性セシウム濃度の測定結果

測定対象	通常焼却時			試験焼却時			単位
	Ce134	Ce137	合計	Ce134	Ce137	合計	
焼却物	不検出 (3.0)	不検出 (3.0)	不検出	3.6	6.5	10	ベクレル/kg
原灰(飛灰)	不検出 (2.7)	4.8	4.8	3.0	5.3	8.3	
セメント 固化灰	不検出 (2.1)	3.0	3.0	2.4	2.5	4.9	
燃えがら	不検出 (1.9)	不検出 (1.8)	不検出	不検出 (1.7)	不検出 (2.1)	不検出	
排ガス	ろし部	不検出 (0.23)	不検出 (0.16)	不検出 (0.22)	不検出 (0.18)	不検出	ベクレル/m <sup>3</sup> N
	ドレイン部	不検出 (0.59)	不検出 (0.95)	不検出	不検出 (0.93)	不検出 (0.70)	
最終処分場 処理原水	不検出 (0.73)	不検出 (0.77)	不検出	不検出 (0.58)	不検出 (0.70)	不検出	ベクレル/L

※ ( ) 内の数値は検出限界値を表しています。試料密度などの状況によって、検出限界値が異なります。  
 ※ 排ガスの「ろし部」とは、排ガス中の固体状粉じんを採取する部分で、「ドレイン部」とは、気体状の物質を採取する部分です。

**その他の測定結果 (試験焼却時の排ガス中の濃度)**  
 ▶ダイオキシン類 3.9ng-TEQ/m<sup>3</sup>N (排出基準は5)  
 ▶アスベスト 不検出 (排出基準は定められていません)

測定結果の詳細は市ホームページをご覧ください。

市内の放射線量率の測定結果 単位:マイクロシーベルト/時

測定地点	通常焼却時 (9/7)	地面 状態	測定地点	通常焼却時 (9/7)	地面 状態
	試験焼却時 (10/26)			試験焼却時 (10/26)	
常宮小学校	0.16 0.15	土	栗野南小学校	0.13 0.14	土
赤崎小学校	0.14 0.13	土	櫛川保育園	0.13 0.12	土
松原小学校	0.17 0.17	土	櫛川会館前	0.13 0.13	土
松陵幼稚園	0.12 0.13	芝生	櫛川河川公園	0.12 0.11	芝生
松島中央公園	0.16 0.17	土	原ふれあい会館	0.11 0.09	土
総合運動公園	0.09 0.08	芝生	児童文化センター	0.12 0.12	芝生
中央小学校	0.13 0.13	土			
敦賀南小学校	0.10 0.13	土			
栗野保育園	0.15 0.16	土			
和久野中央公園	0.15 0.15	土			
中郷保育園	0.14 0.13	土			



市役所市民ホールでご覧いただけます。

